

よくある。こんな事まで、コマコマと書く必要と感心する（お役所だからかな）。しかし、現代の研究者にとっては、こういう事から、当時の国策守備隊の構成、生活等がわかり、大助かりだろう。筆者のような無知無学の徒には、専門的な事はわからないが、当時、そこに人間の集団がいて、明日の運命もわからないが、とにかく一杯今日という日を生きたいという事は事実のようだ。

▼洛星新聞も、何十年後に見られている事もあるだろう。その時、我々の現代の生活を伝える事のできるような、資料価値の高いもの



